



1

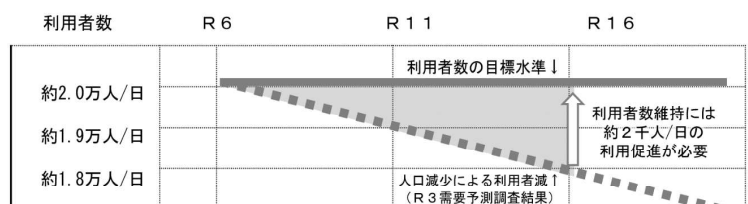
○ 開業後の利用者数の目標について

車両運用体制

- ・ 営業車両：521系（交流・直流両用電車）
- ・ 車両数：32両（2両ユニット×16編成＝32両）
- ・ 運行本数：開業前102本／日 ⇒ 131本／日（29本増）
うち9本／日は快速列車
- ・ その他：パターンダイヤ化、IRいしかわ鉄道との相互乗入れ など

利用者数の目標

- ・ 新幹線の2次交通としての利用促進や、新駅設置等により新規需要を獲得し、
約2万人/日の利用を11年間継続



※ 人口減少により、R6：20,167人/日から、R16：18,162人/日に減少（▲2,005人/日）

2

○ 開業後の利用実績

●利用者が目標（2万人/日〔経営計画〕）を上回る約2.3万人

単位：人

項 目	3 月		4 月		5 月		合 計（3 月～5 月）		経営計画
	3/16～3/31	1日あたり	4/1～4/30	1日あたり	5/1～5/31	1日あたり	全体	1日あたり	1日あたり
定期外	161,039	10,065	237,961	7,932	212,245	6,847	611,245	7,938	5,530
定期	210,785	13,174	445,072	14,836	451,460	15,049	1,107,317	14,570	14,637
（うち通勤）	82,251	5,141	168,504	5,617	170,480	5,683	421,235	5,543	6,504
（うち通学）	128,534	8,033	276,568	9,219	280,980	9,366	686,082	9,027	8,133
合 計	371,824	23,239	683,033	22,768	663,705	21,895	1,718,562	22,508	20,167

【利用実績】

- ・ 増便や快速列車が好評、平日も利用者が増加
- ・ 旧特急停車駅である現有人5駅の利用者数が増加

【定期外の実績】

- ・ 定期外の利用者の大幅な増加
⇒3/16開業日（約12,500人）、3/31ふくい桜マラソン（約14,000人）は、特に多くの利用者
⇒GWや土日祝日に、福井駅周辺でイベント等が開催された日は利用者が増加
⇒また、敦賀駅発着の利用者数が想定以上の増加

3

○開業後に発生した課題と対策について（1）

（1）福井駅の混雑

【課題】

- ・ 開業日は福井駅周辺の各イベントやブルーインパルスの祝賀飛行等により、想定以上の利用者があり、駅構内で混雑が発生

【対応】

- ・ 券売機の追加設置（1台→2台）
- ・ 駅員による券売機の操作サポート
- ・ 改札や窓口の案内看板を追加



（2）平日通勤・通学時間帯や土日祝日の列車の混雑

【課題】

- ・ 平日の通勤通学時間帯、特に福井（17:39発）-敦賀（18:30着）の列車や、土日祝日午後の列車において度々混雑が発生

【対応】

- ・ 予備車両等を活用し、2両→4両に臨時増結



4

○開業後に発生した課題と対策について（２）

（３）多客時の対応

【課題】

- ・ ふくい桜マラソンでは、マラソン参加者以外の利用者（応援者や旅行者）が想定以上に多く、午後から混雑し積み残しが発生

【対応】

- ・ 多数の利用者が見込まれるイベントの開催に合わせて臨時列車を運行

イベント時の臨時列車実績

3/30ふくい桜マラソン、

4/20～21SEKAI NO OWARI、 5/25ケツメイシ サンドーム福井コンサート

5/26今庄そばまつり



福井駅



鯖江駅

○開業後に発生した課題と対策について（３）

（４）交通系ＩＣカードの利用範囲変更

【課題】

- ・ ハピラインふくい線とＪＲ線を乗り継ぐ場合の交通系ＩＣカードの利用可能範囲の変更に伴い、大阪近郊区間を乗降する利用者が、ハピラインふくいやＪＲの各駅で精算ができないなどの問題が発生

【対応】

- ・ ＩＣカード利用可能範囲について、ハピラインのＨＰ、ＳＮＳ、各駅の券売機横の案内ポスター、チラシなどで周知



（５）敦賀駅乗り継ぎ

【課題】

- ・ 連絡運輸範囲外のＪＲ線とハピラインふくい線を乗り継ぐ場合、普通切符利用者は改札外の券売機を利用する必要があり、乗換利便性の向上や適正な運賃収受の観点から、改善を求める声が多い

【対応】

- ・ 敦賀駅在来線側にＩＣカード用の乗換改札機およびハピラインの自動券売機を設置を検討（ＪＲへ要望）
- ・ 敦賀駅の連絡通路に案内サインを追加設置

